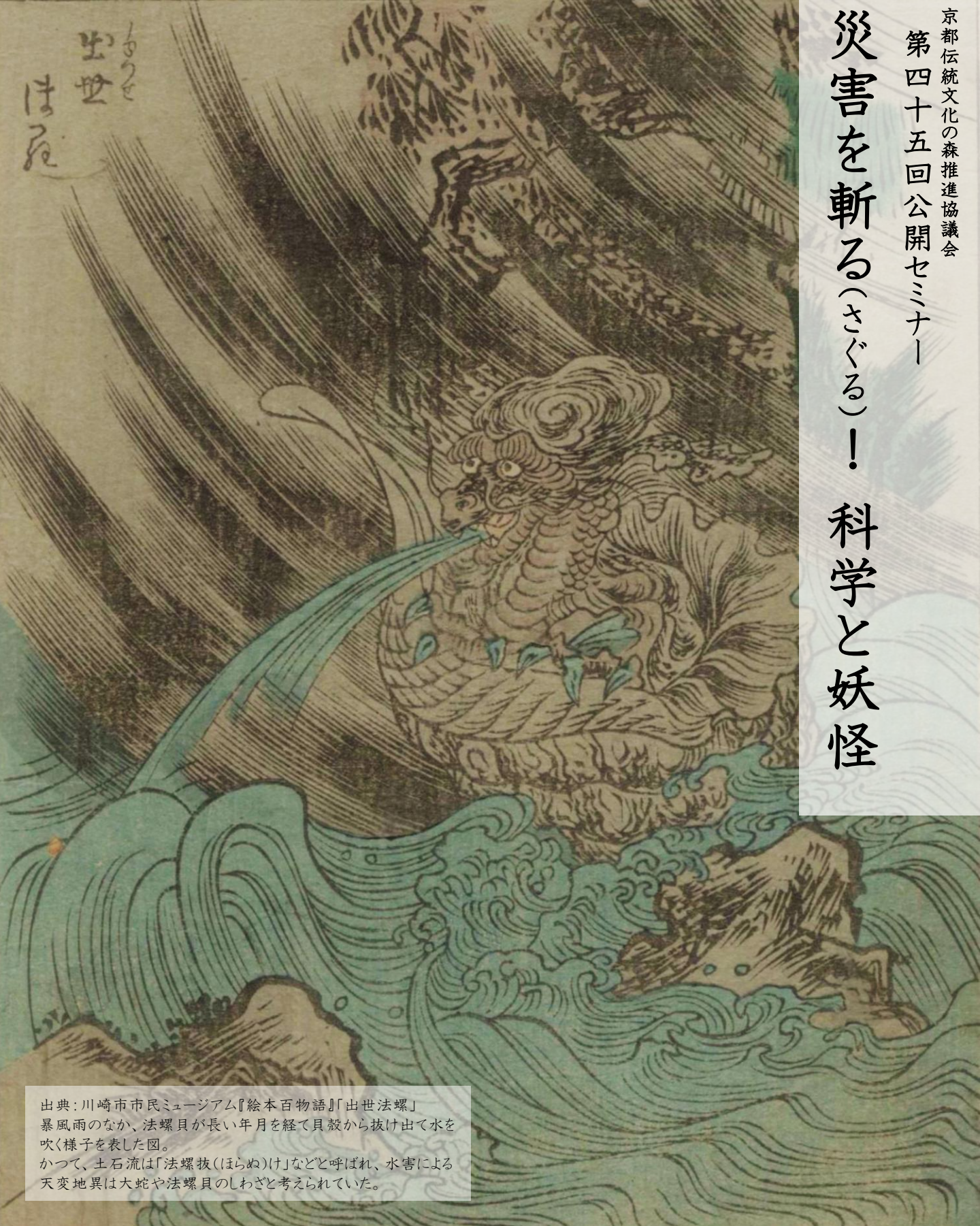


# 災害を斬る(さぐる)！ 科学と妖怪



出典：川崎市市民ミュージアム『絵本百物語』「出世法螺」  
暴風雨のなか、法螺貝が長い年月を経て貝殻から抜け出て水を吹く様子を表した図。  
かつて、土石流は「法螺抜(ほらぬ)け」などと呼ばれ、水害による天変地異は大蛇や法螺貝のしわざと考えられていた。

日時

令和7年

9月28日(日)

午後1時～午後4時  
(12時30分開場)

会場

京都経済センター6階 6-D  
(阪急京都線「烏丸駅」26番出口直結)

参加料

無料(定員50名)



# 内 容

近年、毎年のように大きな災害が発生しています。

かつて、災害は鬼や妖怪のしわざだとして恐れられ、そこに様々な文化が形成されてきましたが、昨今の災害対策は、理工学などの科学的根拠を基に行われています。

今回のセミナーでは、災害という1つのテーマについて、東山での事例も交えながら、妖怪などの民俗学と理工学の両面から探ります。

## 講 演

### 1. 13:00～13:30

#### 『日本人の災害観～神仏・妖怪からよみとく災害文化の歴史～』

講師 丘 眞奈美 氏 京都ジャーナリズム歴史文化研究所 代表、歴史作家

### 2. 13:35～14:25

#### 『災害と人との関わりを考える～風水害を中心として～』

講師 里深 好文 氏 立命館大学 理工学部長、前防災フロンティア研究センター長

### 3. 14:30～15:20

#### 『京都東山の成り立ちと土砂災害論』

講師 藤本 将光 氏 立命館大学 准教授、防災フロンティア研究センター 副センター長

### 4. 15:25～16:00

#### パネルディスカッション『民俗学と理工学から災害を探る』

パネリスト 里深 好文 氏 藤本 将光 氏

コーディネーター 丘 眞奈美 氏

## 申込み

令和7年9月24日（水）までに、**申込人数・代表者氏名**

・御連絡先（電話番号）を下記申込先へメール、FAXで御連絡ください。

※定員（50名）に達し次第受付を終了します

○申込及び問合せ先（京都市森林文化協会）

TEL: (075)723-4230 (8:45～17:00 土日祝除く) / FAX: (075)746-3378

MAIL: moriwo-mamorou@kyoto-dentoubunkanomor.jp



メール送信用  
二次元コード

## 会場・アクセス

### 京都経済センター 6階 6-D

- ・阪急電車京都線「烏丸駅」26番出口直結
- ・京都市営バス「四条烏丸」徒歩すぐ

〈京都経済センター駐車場〉

駐車場 B1F、B2F 40台（有料）

駐輪場 1F 100台（有料）

※台数に限りがあるため、なるべく公共交通（バス・地下鉄）をご利用下さい。

